

美幌町在宅介護実態調査【結果・分析】

○調査対象者

美幌町に居住の65歳以上の方で、要支援または、要介護認定を受けて、在宅で生活されている方の中から無作為に抽出した500人の方を対象

○アンケート実施期間

令和8年2月6日から令和8年3月19日

○アンケート回収率

58.6%（293名）

【A票（ご本人用）】

◆問2 世帯類型について、夫婦のみ世帯、単身世帯合わせて63.8%となる。

項目	回答数	構成比	前回構成比
夫婦のみ世帯	104	35.5%	34.3%
単身世帯	83	28.3%	32.4%
その他	100	34.1%	30.5%
無回答	6	2.0%	2.8%
合計	293	100.0%	100.0%

項目	回答数	構成比
90歳以上	96	32.8%
85～89歳	80	27.3%
80～84歳	63	21.5%
75～79歳	37	12.6%
70～74歳	14	4.8%
65～69歳	2	0.7%
65歳未満	0	0.0%
無回答	1	0.3%
合計	293	100.0%

⇒夫婦のみ及び単身世帯の割合が高いことから、高齢者保健福祉計画のアンケート同様に、家族による支援力が限定される世帯が多いことが分かる。

今後、独居が増える可能性も高く、安否確認や引きこもり対策、災害時の避難支援等の充実が重要である。

◆問5 ご本人の要介護度について、要支援1・2が46.1%、要介護1・2を含めると75.8%となる。

項目	回答数	構成比
要支援1	62	21.2%
要支援2	73	24.9%
要介護1	51	17.4%
要介護2	36	12.3%
要介護3	31	10.6%
要介護4	13	4.4%
要介護5	15	5.1%
わからない	8	2.7%
無回答	4	1.4%
合計	293	100.0%

⇒現状では軽度者が多いため、介護予防、生活支援、重度化防止といった施策の充実が重要である。

◆問 7 現在抱えている傷病については、認知症が 29.4%を占めている。

項目	回答数	構成比	前回構成比
認知症	86	29.4%	35.7%
心疾患(心臓病)	59	20.1%	19.5%
筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	50	17.1%	19.5%
眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	46	15.7%	24.8%
糖尿病	41	14.0%	17.1%
脳血管疾患(脳卒中)	32	10.9%	15.7%
変形性関節疾患	21	7.2%	10.0%
悪性新生物(がん)	16	5.5%	7.1%
呼吸器疾患	15	5.1%	7.6%
パーキンソン病	12	4.1%	3.3%

⇒認知症の方が多く、単身高齢者が増えていくと想定される中で、地域での見守りの充実が必要であり、また、権利・利益を擁護する成年後見制度の普及と支援体制の強化が求められる。

◆問 1 2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、見守り、声かけ、外出同行、移送サービス、配食に対する回答が多い。

項目	回答数	構成比	前回構成比
特になし	97	33.1%	26.2%
見守り、声かけ	51	17.4%	19.0%
外出同行(通院、買い物など)	48	16.4%	20.0%
移送サービス(介護・福祉タクシー等)	37	12.6%	27.6%
配食	33	11.3%	17.6%
掃除・洗濯	28	9.6%	14.8%
調理	20	6.8%	11.9%
サロンなどの定期的な通いの場	18	6.1%	13.3%
買い物(宅配は含まない)	17	5.8%	14.3%
ゴミ出し	16	5.5%	9.5%
その他	6	2.0%	9.5%
無回答	71	24.2%	14.8%
実回答数	293	-	-

⇒高齢者保健福祉計画アンケートにおいても、介護が必要になっても在宅生活を送りたいという方が多いことから、これらの支援・サービスは、在宅継続を支える施策として重要性が高いと考える。

【B票（介護者用）】

◆問4 主な介護者の年齢について、60代と70代を合わせると56.3%、80歳以上を合わせると72.1%となる。また、介護の内容は、家事や金銭等管理、外出の付き添い等が多い。

項目	回答数	構成比	前回構成比	項目	回答数	構成比	前回構成比
20歳未満	0	0.0%	0.7%	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	110	69.6%	76.5%
20代	1	0.6%	0.0%	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	106	67.1%	65.1%
30代	2	1.3%	0.0%	食事の準備(調理等)	100	63.3%	67.8%
40代	6	3.8%	2.7%	外出の付き添い、送迎等	95	60.1%	69.1%
50代	27	17.1%	17.4%	服薬	71	44.9%	50.3%
60代	55	34.8%	26.8%	衣服の着脱	51	32.3%	32.2%
70代	34	21.5%	28.2%	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	42	26.6%	27.5%
80歳以上	25	15.8%	22.1%	入浴・洗身	37	23.4%	34.2%
わからない	0	0.0%	0.0%	認知症状への対応	34	21.5%	29.5%
無回答	8	5.1%	2.0%	屋内の移乗・移動	32	20.3%	24.8%
合計	158	100.0%	100.0%				

⇒介護者の半数は、60歳以上であることから、今後、老老介護となる恐れに加え、[B票]問3では、介護負担が女性に偏っている状況も見受けられることから、居宅サービスの充実を図りながら、介護負担軽減の取り組みが重要である。

◆問6 現在の生活を継続していくにあたり不安に感じる介護について、認知症状への対応が25.9%を占めている。

項目	回答数	構成比	前回構成比
認知症状への対応	41	25.9%	30.2%
外出の付き添い、送迎等	35	22.2%	23.5%
入浴・洗身	34	21.5%	27.5%
夜間の排泄	31	19.6%	22.1%
日中の排泄	29	18.4%	9.4%
食事の準備(調理等)	26	16.5%	14.1%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	24	15.2%	11.4%
屋内の移乗・移動	18	11.4%	10.1%
不安に感じていることは、特にない	18	11.4%	4.7%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	16	10.1%	10.1%

⇒[A票]問7においても、ご本人が抱えている傷病で認知症が一番多い結果であり、本町においても、今年度から認知症施策の取り組みを強化しているところである。今後も『安心して暮らせる美幌町』を目指し、認知症に対する各種事業を推進していく必要がある。